

勝保電事連会長 定例会見要旨
(2007 年 6 月 15 日)

- 本日私からのご報告は 2 点です。1 点目は「電気系人材の確保と育成のための組織『パワーアカデミー』の創設」について、2 点目は「この夏の電力需給の見通し」について、です。

1. 電気系人材の確保と育成のための組織『パワーアカデミー』の創設について

- ◎ まず、私ども電気事業連合会では、昨年秋より、将来の電力供給を支える電気系人材の確保と育成を図るための方策について検討を進めて参りましたが、来年 4 月を目途に、研究・教育面での産学連携を進める組織である『パワーアカデミー(仮称)』を創設することにいたしました。

資料-1 をご覧ください。

- 近年、大学の工学部を志願する学生が 10 年間で半減するなど若者の理工系離れが急速に進んでおりますが、電気事業を支える「電気工学」も地味なイメージがあり、学生から敬遠される傾向が強まっています。

一方、学生を受け入れる側の大学でも、IT やバイオなど学生の人気の高い先端分野に重点をおいた学部や大学院の再編が進んでおり、その結果、電気系学科を有する全国約 200 校の大学で「電気工学科」の名前が残っているのはわずか 10 校となっています。また、教員が退官した後、後継者不足から講座や研究室が無くなるケースなどもあると聞いております。

- 私ども電力業界では、これまでも寄附講座や委託・共同研究など電気工学分野の活性化に取り組んでまいりましたが電気工学離れに歯止めがかからず、このまま放置しておくとう人材の枯渇等により電力供給に支障が及ぶ可能性もあることから、このたび電力業界を挙げて抜本的な対策を講じることにいたしました。

- 資料の図をご覧ください。

このたび設立する「パワーアカデミー(仮称)」は、大学・メーカー・電力中央研究所・電力各社から構成され、

- ① 大学の電気工学関連講座の支援
 - ② 電気工学分野への優秀な人材確保
- などに取り組んでまいります。

- 具体的な活動内容については今後詰めてまいります。まず、各大学における電気工学分野の活性化策を支援してまいります。

例えば、産学で共同運営する「研究センター」の開設や新設する講座への産業界からの講師派遣等を行なってまいります。

このうち「研究センター」については、手始めとして、東京大学と産業界と共同で、先端の電力エネルギー技術を研究・教育する仕組みを学内に立ち上げ、他大学とも協力して、世界のトップランナー技術の研究や将来の技術を支える人材の育成を進めていく計画です。

- このほか、若手研究者や学生の海外交流や産業界でのインターンシップなど人材育成を支援したり、オールジャパンでの共同研究の実施、実際の電力設備を活用した講義なども考えております。

こうした活動により、電気工学の魅力を高め、多くの若い人材に活躍してもらいたいと期待しています。

2. この夏の電力需給の見通しについて

- ◎ 次に、この夏の電力需給の見通しについて申し上げます。お手許にお配りした資料-2をご覧ください

- 気象庁の3か月予報によりますと、今年の夏の平均気温は、ラニーニャ現象の影響などより全国的に平年より高めと予測されています。

- これらの予報や過去の実績などを踏まえた電力10社の今年の夏の最大電力の見通しですが、資料の2のとおり1億8,000万kW程度と想定いたしました。

- 一方、これに対する供給力については、約1億9,800万kWを計画しており、約1,800万kW、10%程度の予備力を確保できる見通しです。

- しかし、夏場の電力需要は気温に大きく左右され、30℃を超えるような暑い日中には、気温が1℃上がるごとに、全国の最大電力は茨城県の消費電力に匹敵する約500万kWも増加いたします。

また、今年はこれまでのところ全国的(北海道を除く)に異常渇水となっており、5月の水力発電の出水率は過去(S17年以来)最低の記録となっております。

- こうした高気温による需要の急増や異常渇水や設備の予期せぬトラブルといった不測の事態がないとは限りませんので、各社とも気を引き締めてこの夏の安定供給に万全を期してまいりたいと思います。

3. 電事連の役員人事について

- ◎ 最後に、本日の総合政策委員会で決議いたしました、電気事業連合会の役員人事についてご報告させていただきます。お手許の資料-3をご覧ください。
- ◎ 今回は、今私の隣に座っている梶本副会長、そして松尾副会長、寺本事務局長の3名が退任いたします。
その後任として、東京電力の森本副社長及び関西電力の森社長が副会長に、また関西電力の廣江（ひろえ）執行役員が事務局長に就任する予定です。
以上の交代を含めた新しい役員の体制はお手元の資料の「ご参考」のとおりです。
- 私からは以上です。

電気系人材の確保と育成のための組織 「パワーアカデミー（仮称）」の創設について

2007 年 6 月 15 日
電 気 事 業 連 合 会

電気事業連合会は、将来の電力供給を支える電気系人材の確保と育成を図るため、来年 4 月を目途に、研究・教育面での産学連携を進める組織である「パワーアカデミー(仮称)」を創設いたします。

近年、大学の工学部を志願する学生が 10 年間で半減するなど若者の理工系離れが急速に進んでおり、電気事業を支える「電気工学」も学生から敬遠される傾向が強まっています。一方、大学においても IT やバイオなど学生の人気の高い先端分野に重点をおいた学部や大学院の再編が進んでおり「電気工学科」の名称の消失等が進んでいます。

電力各社は、従来から寄附講座や委託・共同研究など電気工学分野の活性化に取り組んでおりますが、このまま人材の枯渇が進むと電力安定供給に将来悪影響を与える可能性もあることから、このたび、電力業界を挙げた抜本的な対策として「パワーアカデミー」を設立することといたしました。

「パワーアカデミー」は、大学・メーカー・電力中央研究所・電力各社から構成され、大学の電気工学関連講座の支援、電気工学分野への優秀な人材確保などに取り組んでまいります。

具体的な活動内容は今後詰めてまいります。当面、産学で共同運営する「研究センター」の開設や新設する講座への産業界からの講師派遣等など、各大学における電気工学分野の活性化策を支援してまいります。

このうち「研究センター」については、手始めとして、国立大学法人東京大学と産業界と共同で、先端の電力エネルギー技術を研究・教育する仕組みを学内に立ち上げ、他大学とも協力して、世界のトップランナー技術の研究や将来の技術を支える人材の育成を進めていく計画です。

このほか、若手研究者や学生の海外交流や産業界でのインターンシップなど人材育成を支援したり、オールジャパンでの共同研究の実施、実際の電力設備を活用した講義なども進めてまいります。

以上

2007年6月15日
電気事業連合会

「パワーアカデミー（仮称）」の創設について

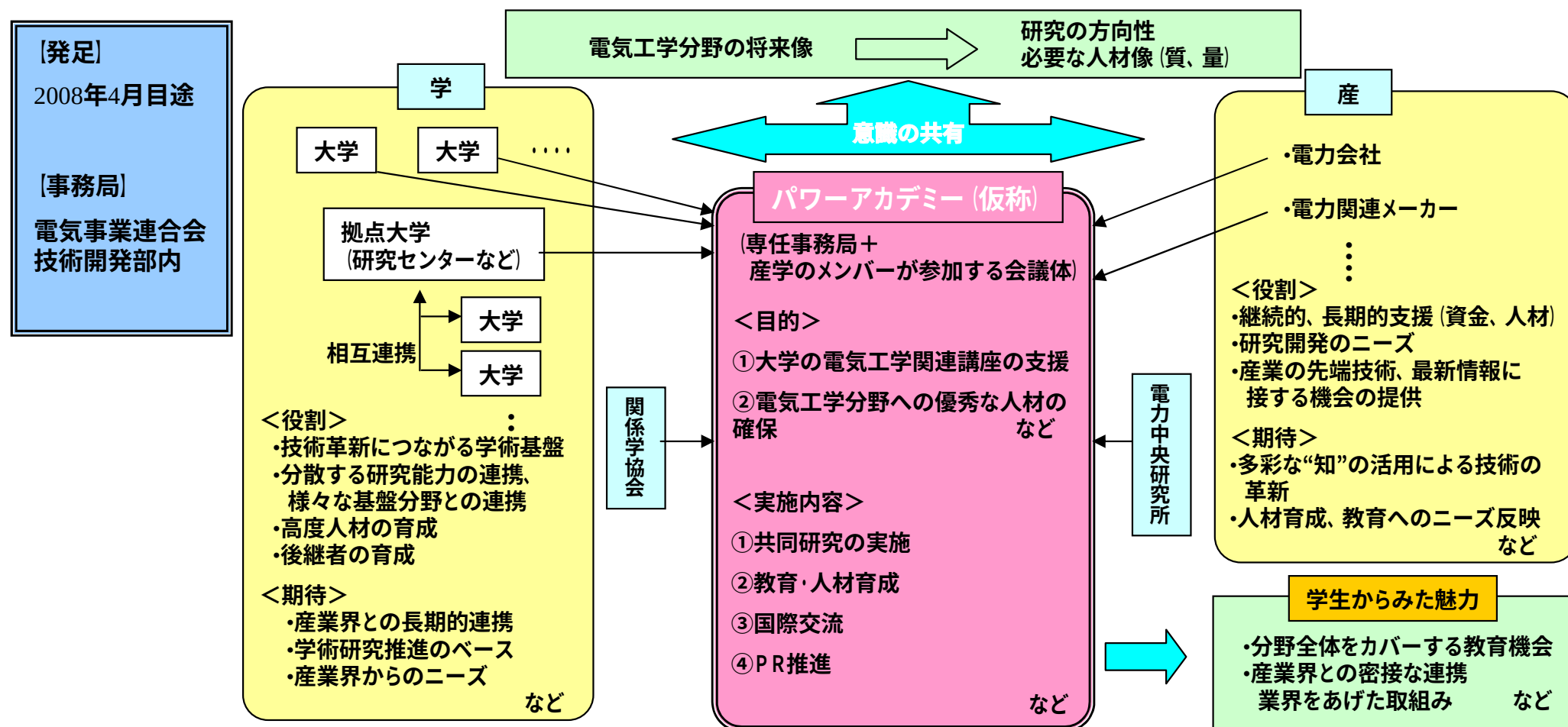
電気工学分野を巡る背景

- 電気工学に対する学生の関心低下
- 見栄えや学生の関心を引くための学科の再編・名称変更
⇒「電気工学科」の名称の消失
- このままでは、教員の他分野への移行、教育内容・規模の縮小が益々進む恐れ

- 電気工学の学識者、研究者の喪失
- 電力技術を革新する基礎研究機能の喪失
- 電気工学の教育機能の喪失

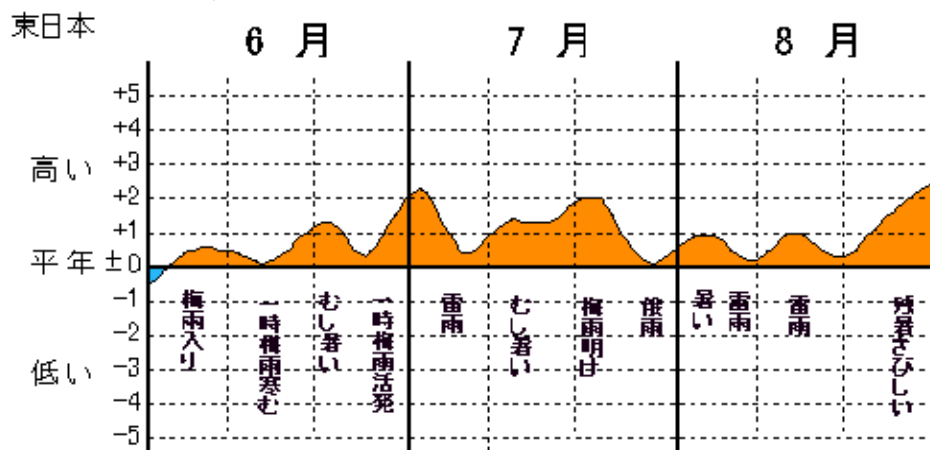
将来の電力安定
供給に支障が及
ぶ恐れ

産学連携の体制



今夏の需給見通しについて

1. 今夏(6月～8月)の気象見通し(東日本)

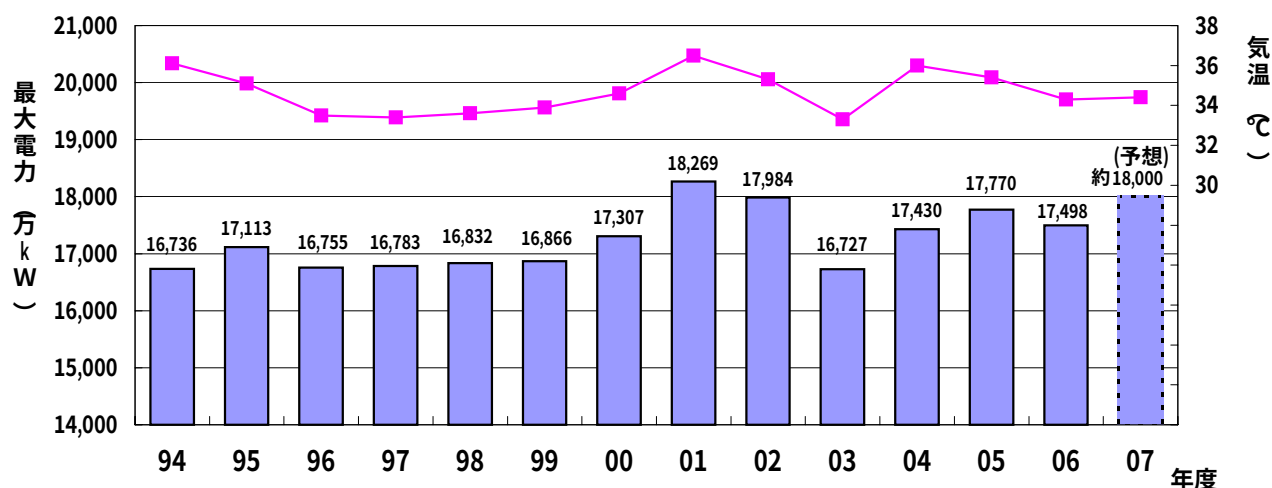


<気象庁3ヶ月予報に対する気象協会解説(2007年5月24日)による>

2. 今夏の最大電力予想と供給力(発電端、10社計)

最大電力 (A)	1億8,000万kW程度
供給力 (B)	1億9,800万kW程度
供給予備力 (C) = (B) - (A)	1,800万kW程度
供給予備率 (D) = (C) / (A)	10%程度

3. 近年の最大電力と気温との関係



4. 近年の最大電力実績(発電端、10社計)

	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
発生日	8月4日	8月25日	8月2日	9月2日	8月3日	8月4日	8月25日	7月24日	8月1日	8月5日	7月20日	8月5日	8月7日
最大電力 (万kW)	16,736	17,113	16,755	16,783	16,832	16,866	17,307	18,269 (過去最大)	17,984	16,727	17,430	17,770	17,498
対前年増加量 (万kW)	2262	377	▲358	28	49	34	441	962	▲285	▲1,257	703	340	▲272
対前年伸び率 (%)	15.6	2.3	▲2.1	0.2	0.3	0.2	2.6	5.6	▲1.6	▲7.0	4.2	2.0	▲1.5

電気事業連合会 役員人事

2007 年 6 月 15 日
電 気 事 業 連 合 会

電気事業連合会の役員人事について、本日の総合政策委員会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、榊本晃章東京電力取締役から森本宜久東京電力副社長への副会長の交代は 6 月 26 日、松尾新吾九州電力社長から森詳介関西電力社長への副会長の交代及び理事事務局長の交代は 6 月 28 日を予定しております。

現	新
副会長 まつお しんご 松尾 新吾・九州電力社長 （九州電力会長に就任予定） ますもと てるあき 榊本 晃章・東京電力取締役 （東京電力顧問に就任予定）	副会長 もり しょうすけ 森 詳介（現 関西電力社長） もりもと よしひさ 森本 宜久（現 東京電力副社長）
理事 事務局長 てらもと たかし 寺本 嵩 ・関西電力取締役 （関西電力常務取締役就任予定）	理事 事務局長 ひろえ ゆずる 廣江 譲 （現 関西電力執行役員）

※この他の役員については、変更ありません。

以 上

（ご参考）

電気事業連合会の役員新体制（予定）

会 長	かつまた 恒久（東京電力社長）
副会長	こんどう たつお（北海道電力社長）
	もり しょうすけ（関西電力社長）
	もりもと よしひさ（東京電力取締役）
専務理事	いとう のりひさ（中部電力取締役）
理事 事務局長	ひろえ ゆずる（関西電力取締役）
理事 事務局長代理	たなか ひであき（東京電力）